

新春対談

二〇二〇年一月、記念すべき七十号を迎えたチヨールホーにふさわしく、新春対談からスタートです。このたび、中村法道長崎県知事をお迎えして、河野茂長崎大学長との対談が実現しました。コーディネーターは、この号から新しく編集長となった山口純哉准教授です。

長崎県知事

中村法道

NAKAMURA Houdou

×

長崎大学長

河野茂

KOHNO Shigen

山口編集長（以下、山口） 知事、本日はお忙しいところありがとうございます。まず、高校生に、長崎県、長崎大学で学びたい、将来もここで暮らしたいと思ってもらうために、どのようなことに取り組んでいるかを、知事と学長のお二人に語っていただくというのが今回の対談の目的です。まず、長崎の現状と将来像について、知事からお話いただけますか。

中村知事（以下、知事） 本土の最西端に位置する長崎県は、地理的な特性を生かし、海外に開かれた窓口として発展してきました。しかし、移動手段が海から空に変わると、交流拠点も変わりました。平地に乏しく水の確保が難しい本県は、産業構造の変革が進みませんでした。私が知事に就任した平成二十二年はリーマンショックの直後で、県民の多くの方々が、働く場を何とかしてほしいと願っていました。そこで、平成二十三年に新しい総合計画を策定し、人々が元気で活躍できる県を目指し、産業の活性化に全力を注いできました。その成果として、雇用の創出や県外からの移住者の数は目標を越えて増加しています。しかし、人口減少になかなか歯止めがかからない状況にあります。人口減少対策については、若い世代の方々が県内にとどまっ



知事も学長も忙しいスケジュールの合間を縫っての対談となりましたが、県庁前の緑地「おのうえの丘」に立ち、長崎港をわたる潮風に吹かれて思わず笑顔がこぼれます。

成すべきかがこれからの最重要課題であり、長崎大学には大いに期待しています。

山口 学長、知事が今おっしゃった県の将来像を実現するために、大学はどのような役割を果たしていくのでしょうか。

河野学長（以下、学長） 本学は地域に根差した国立大学で、その価値は優秀な教員と優秀な学生で決まります。かつての、教員が自分の好きな研究をし、かつ教育をするという余裕のあった時代は変わり、現代では教育と研究に加え、社会と接点を持ち地域貢献や国際貢献をすることが国立大学の重要

な使命となりました。ちなみに本学の場合、長崎県出身の学生と県外出身の学生の割合は三対七です。

知事 そうですか、私が長崎大学に入学した当時は、県内と県外の出身の割合は半々でしたが。

学長 はい、ずいぶん変わりました。県内の産業・社会に貢献し、地域を元気にするために、産学官（産業界、大学等）との教育機関、県や市町村）が連携して新たな雇用や研究を創出するのが、大学に課せられた使命でもあります。最近よく聞く「オープンイノベーション」ですね。長崎県では二つの世界遺産が登録されたので、その財

この対談の注目ポイントを「やまモン」(編集長)が分かりやすく解説します



山口純哉編集長の「やまモン」



山口純哉

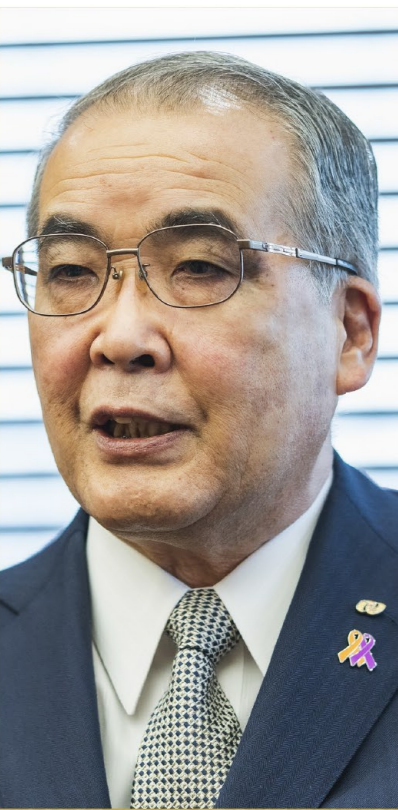
YAMAGUCHI Junya

コーディネーター／本誌編集長

解説 1

オープンイノベーション

国内外の多様な人や組織、分野と交わり、自らの思考や行動を変革して未知の問題を解決する能力が、オープンイノベーション。人口減少など地域の将来について重要な問題を抱える一方で、江戸時代から国内外の文化が交わり新しい文化を生み出してきた長崎の地は、オープンイノベーションを実現する力を身に付けるのに最適です。長崎大学の各学部は、県下の企業や自治体など多様な主体と連携して、そのような能力を育むカリキュラムを提供しています！



長崎県知事

中村法道

NAKAMURA Houdou

1950年生まれ。1973年長崎大学経済学部卒業。同年4月長崎県入庁。企画部国際課長、福祉保健部県立病院課長を経て、1999年日蘭交流400周年事業推進室長に就任。その後、対馬支庁長、農林部長、総務部長を歴任し、2009年副知事に就任。2010年より現職。

企業は大学の人材育成に注目しています

産をどのように生かしていくかも、本学が貢献すべきテーマです。そして、もう一つ忘れてはならないのが、長崎は広島と共に被爆した都市であり、日本で唯一の被爆医科大学の歴史を継承する大学として平和に貢献するということです。

山口 大学と県は、同じ方向を向いて進んでいるということですね。若者の県内定着のお話が出ましたが、長崎県の取り組みについてお教えください。
知事 県内の優秀な高校生の方々に、県内の大学で学術研究を重ねて地域のために活躍していただくのが、私どもの一番の希望です。実際、各企業の経営者の方々とお話をしていると、新たな事業展開の拠点を選定すると

が、長崎には世界で唯一という強みを持つ企業や、全国一のシェアを誇る企業があります。しかし、学生には知られていません。学長、大学側としても県と歩調を合わせ、長崎の魅力を周知しないといけませんね。

学長 はい、県と大学の協働で始まったCOC+では、学生の皆さんが地域の魅力を学ぶカリキュラムを取り入れています。大学の新たな取り組みとして、来年度からは優秀な学生を対象として**入学時に奨学金を給付する制度**（特集16ページ）も始まります。また、新たに**キャリアセンター**（特集15ページ）を整備し、学生の人生設計をサポートする体制も整えています。学生の皆さんは、どのような勉強をすれ

き、その地域の大学にはどのような人材がいて、どのような研究に力を注いでいるかに大きな関心を持っています。これはつまり、進出する地域にある大学の人材育成が、拠点を選ぶ際の大きな理由になるということです。特に近年は、情報系の研究開発拠点を長崎に設けたいという企業が続々と名乗りを上げています。富士フィルムグループ、京セラグループ、デンソーグループ、セイノーグループなど、国内有数企業が優秀な人材を求めて長崎に進出してきています。こうした中、県内企業の情報を学生に提供するために、「**県内就職応援サイトNなび**」を開設しました。二千百社の企業と約六千六百人の学生が登録しており、今

ば進むべき方向の可能性が高まるかということを自ら考えるときともに、社会とのつながりの中で、人間力を磨く勉強をすることが大切です。

新しい情報データ科学部は多彩でわくわくする顔ぶれ

山口 来年度、長崎大学は**情報データ科学部**（特集7ページ）を開設します。これについて学長からお話しいただけますか？

学長 この新学部の約三十名の教員のうち半分は新たに採用します。新しく赴任された西井龍映（りゅうえい）創設準備室長が他の教員と共に、全国の著名な企業や、

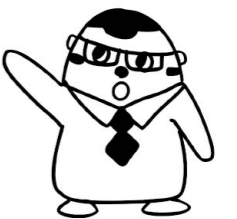
後マッチングが進むことを期待しています。また、各企業の説明会、就職面談会なども開催するほか、県下の各高校にはキャリアサポートスタッフを配置し、県内就職を安心して選んでいただくための情報提供をしています。しかし、都市部の企業と比べると、県内企業は給与や福利厚生などの勤務環境で差が出てくるため、採用力の強化や、女性が活躍できる環境の整備を推進しています。いずれにせよ、企業の皆さんは優秀な人材を求めて地方に進出してくるとい**うこれまでにな**

い動きを見せていると理解しています。
山口 私の専門は地域経済なので

研究・教育機関の**優秀な研究者**（特集13ページ）に声を掛け、多彩でわくわくする顔ぶれがそろいました。情報サイエンスといえば、若い方が興味を持ちやすいのはドローンやロボットなどでしょう。それらは、医学や教育学、経済学、観光など、あらゆる分野に活用可能であり、各方面で活躍する人材が育成されるはずで**す**。本学では、感染症や放射線に続く第三の研究のコアとして、海洋エネルギーや創業のプロジェクトが推進されていますが、ここにAIの技術を投入することで、さらに発展すること**と思われ**ます。ちなみに、情報データ科学部には海外の優秀な学生も入学してきます。彼らは、将来的に日本の企業に就職することも考

解説！ 2

県内就職応援サイトNなび



長崎県下の企業と県内で就職活動を行う学生の皆さんを結び付けるプラットフォームとしての役割を担うのが、県内就職応援サイトNなび。県内企業登録数は二〇一九年十月現在で二〇九九社、学生登録数は六五九三人。公式スマホアプリをダウンロードすれば、県内就職に関する情報入手できます。長崎県や県内の市町が企画する企業説明会、合同面談会、セミナーなどのイベント情報もいち早くチェックできます。

長崎県総合就職支援センター
TEL.095.842.5424



解説！ 3

これまでにない動き

企業は、人、モノ、金、情報やネットワークといった経営資源を求めて立地場所を決定します。これまで日本の経済を牽引してきた製造業の工場は、土地や建物、原材料などのモノがある地域に立地する傾

向にあります。が、これからの経済を牽引するといわれる、製造業など既存産業の研究開発部門や情報産業といった知識産業は、知識や知恵を有する人のいるところに立地します。今の長崎では、新規企業と既存の企業のいざれにおいても、長崎大学が輩出する人材への期待が高まっています。長崎県経済、ひいては日本経済を牽引する産業を、あなたの力で創るチャンスがここにあります！

解説！ 4

COC+

COC+とは、大学が地方公共団体や企業などと協働して、学生にとって魅力のある就職先を創出するプロジェクト。長崎大学は知の拠点として、地域が求める人材を養成するのに必要な教育カリキュラムを用意しています。例えば、学内外からの講師による長崎の歴史や文化を学ぶ講義や、地域課題に取り組み参加型の授業を実施。また、観光、医療・福祉、教員養成、海洋エネルギー・海洋環境を重点課題として、地元で就職できる学生を増やす専門教育分野プログラムを設けています。

起業家精神を有する人材を内外に輩出します



長崎大学長

河野 茂

KOHNO Shigeru

1950年生まれ。1974年長崎大学医学部卒業。長崎大学助手、ニューメキシコ州立大学医学部研究講師を経て1996年長崎大学医学部教授となる。2009年同大学理事、大学病院長を歴任後、2014年副学長に就任。2017年より現職。

